

とってもやさしい
アポイ岳ジオパーク講座
【第5回】

ジオサイトめぐり
(見どころ) その2

■ 様似海岸エリア：【C3】 エンルム岬



エンルム岬。龍の頭に見えますか？

わたしたちの様似は江戸時代に開かれた歴史のある町ですが、それはエンルム岬が昔から天然の港として利用されていたからです。江戸時代には、かの大海商「高田屋嘉兵衛」も航海の途中にここ様似に立ち寄っています。

このエンルム岬は、大昔、強い力で押されたために地面に割れ目ができ、そこに下からマグマが入り込み、それが冷えて固まってできたものです。もしも、そのような地球の活動がなかったら、今の私たちの様似町もなかったかも知れません。

ここエンルム岬は、わが町の成り立ちと地球の営みとの不思議な縁を感じることでできる、そして、ふるさとのにしえの姿に思いをはせることでできる、そんな場所です。

■ 新富エリア：【E3】 チャート

新富と様似ダムを結ぶ道路沿いには、チャートという岩石がむき出しになっている場所があります。このチャート、なんと虫の死がいからできた岩石なのです。

その虫は「放散虫」という、海にただよって生活している大きさ0.1mmほどのプランクトンの仲間です。その放散虫の死がい^{ほうさんちゅう}が海の底に厚くたまり、気が遠くなるほどの長い年月をかけて固まると、岩石つまりチャートになります。

このチャートはとても硬いので、昔は火打ち石としても使われていました。このジオサイトでも、金づちなどでチャートを叩くと本当に火花が飛び様子を見ることができます。



チャートを金づちで叩くと火花が出るんです。(ふるさとジオ塾でのひとコマ)

エンルム岬の台場への道は、夏に舗装されて登りやすくなったわ。みんなもエンルム岬に行って、パワーを感じてみてね。



もちろん！ 日高山脈が龍の流れだとすると、エンルム岬は龍の頭、ドラゴンヘッドだって言う人もいるんだよね。岬に立つと、やる気に満ちてくるんだって。



はいはい、カンランくんの原料は「おっちょこちよい虫よ。(本当はマントルです)ところで、エンルム岬は今、パワースポットとしても注目されてるって知ってた？



虫の死がいからも岩石ができるのかー。もしかしたら本当はほくも虫からできたのかも…。アポイちゃん、ぼくはどんな虫からできたのかな？

